



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月25日  
上場取引所 東

上場会社名 サトーホールディングス株式会社  
コード番号 6287 URL <http://www.sato.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長兼最高経営責任者 (氏名) 松山一雄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 (氏名) 榎田晃裕 TEL 03-6665-0639  
四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	46,113	8.1	2,947	23.3	3,189	75.3	1,893	159.7
25年3月期第2四半期	42,666	8.6	2,391	28.3	1,819	41.0	729	4.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,274百万円 (-%) 25年3月期第2四半期 △179百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	62.90	56.48
25年3月期第2四半期	24.22	21.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	78,926	41,885	52.9	1,386.76
25年3月期	77,521	40,205	51.7	1,330.77

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 41,753百万円 25年3月期 40,068百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.00	—	20.00	37.00
26年3月期	—	18.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	38.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

詳細につきましては、本日公表の「期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	10.0	6,500	19.2	6,500	19.7	3,700	35.7	122.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	32,001,169株	25年3月期	32,001,169株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,892,383株	25年3月期	1,891,989株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	30,108,952株	25年3月期2Q	30,109,818株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料の3ページをご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「グローバル化と顧客価値の最大化を追求する」ことを基本戦略に、持続可能な成長力と収益基盤を確立することを経営目標に掲げ、以下の諸施策を実行中です。

- ① 日本の事業部制の成功を国別に移植
- ② 新興国成長市場の開拓
- ③ 高収益サプライ事業の確立
- ④ 収益力強化(事業、用途、製品、コスト)
- ⑤ 全体最適化(IT、SCM、財務、人財育成)
- ⑥ 環境保全ビジネスの本業化

これらの活動の結果、特に海外事業において売上の回復と収益性の顕著な改善が見られたことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は46,113百万円（前年同期比108.1%）、営業利益2,947百万円（同123.3%）、経常利益3,189百万円（同175.3%）、四半期純利益1,893百万円（同259.7%）となりました。

なお、売上高は半期ベースで過去最高、営業利益、経常利益、四半期純利益は上半期として過去最高を更新しております。

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

#### <日本>

当第2四半期連結累計期間においては、製造業を中心に設備投資需要については慎重な姿勢がみられ、電子プリンタを中心とするメタロ製品の引き合いが弱い状況が続きましたが、上半期後半には運輸配送業向けなど非製造業向けを中心に合理化需要が活発化するなど回復傾向が見られるようになりました。景況感改善の動きを捉え、これら需要を掘り起こす積極的な営業活動を展開した結果、用途開拓の成果が徐々に顕在化してきております。

今後一層、コストダウンへの取り組みを強化するとともに、成長市場の開拓や用途提案による新たな需要開拓を進め、事業拡大に向けた営業活動を強化してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は32,195百万円（前年同期比100.7%）、営業利益1,993百万円（同96.4%）となりました。

なお、来年4月からの消費税率変更の政策決定がなされましたが、小売各社を中心とする値札貼り替え需要に対応すべく、社内体制を整え当社のノウハウを最大限活かした提案営業を展開しております。

#### <米州>

北米市場においては、大手ドラッグチェーン向けやアパレル向けプリンタ需要、OEM向け食材の消費期限管理商談が継続するなど既存ビジネスが堅調であったほか、南米市場においてもACHERNAR社（アルゼンチン）の業績が好調に推移いたしました。

これらの取り組みにより、売上高は4,622百万円（前年同期比133.5% [為替影響を除く前年同期比107.3%]）、営業利益265百万円（同187.4%）となりました。

#### <欧州>

欧州市場では、各国でシール・ラベル製品の販路開拓を着実に進め、採算性を重視した販売政策を推進してまいりました。英国での運輸、小売業向け大口ラベル商談受注、ドイツでの大手アパレル向けRFID商談の成立など、着実に成果が上がっております。また、ラベル生産体制の見直しによる低コストでの生産供給体制の確立など、これまでの構造改革の成果が表れ収益体質に転換してまいりました。

これらの取り組みにより、売上高3,420百万円（前年同期比135.4% [為替影響を除く前年同期比106.7%]）、営業利益73百万円（前年同期は営業損失114百万円）となりました。

## <アジア・オセアニア>

アジア市場は、新興国の経済成長のペースが鈍化していることから力強さに欠けるものの、中国市場に持ち直しの動きが見られたほか、前年度下期に営業を開始したインドネシア、及びベトナムの売上が新たに加わるなど、新重点市場が計画どおりに伸長し前年を上回りました。

アジア新興国での中間所得層の拡大を背景とした日系企業のアジアシフトへの動きを捉えるのと同時に、安心・安全への需要が拡大する傾向から、「ヘルスケア、自動車、運輸・物流、総合スーパー・コンビニ」の4業種についてケアアカウントを設定し、日本に専任チームを設け支援を強化しております。

また、ARGOX社（台湾）との連携を通じ、相互の販売チャネルを活用した製品供給を開始するなど、新興国市場開拓のスピードを上げ競争優位性を確立してまいります。

これらの取り組みにより、売上高は5,876百万円（前年同期比125.1%〔為替影響を除く前年同期比102.0%〕）、営業利益639百万円（同201.8%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、78,926百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,404百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金、有形固定資産、投資有価証券の増加等によるものです。なお純資産は、配当金の支払いを行った一方、四半期純利益の計上、為替換算調整勘定が増加したことなどにより1,680百万円増加し、41,885百万円となりました。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、14,993百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,001百万円の増加となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは5,935百万円の増加（前年同期比523.6%）となりました。

主なプラス要因は税金等調整前四半期純利益3,182百万円、減価償却費1,022百万円及び、売上債権の減少額1,477百万円、法人税等の還付額1,035百万円等であり、主なマイナス要因は未払金の減少額383百万円、法人税等の支払額562百万円等であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,482百万円（前年同期比328.6%）となりました。

主な要因は、投資有価証券の取得による支出977百万円、有形固定資産の取得による支出1,086百万円等によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは593百万円の減少（前年同期比30.6%）となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出669百万円、配当金の支払額601百万円等があった一方で、長期借入れによる収入1,000百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績につきましては、平成25年7月26日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,577	15,626
受取手形及び売掛金	20,942	19,694
有価証券	93	149
商品及び製品	6,632	6,487
仕掛品	190	299
原材料及び貯蔵品	1,858	1,963
未収還付法人税等	1,035	—
その他	3,446	3,460
貸倒引当金	△86	△98
流動資産合計	46,690	47,582
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,657	7,610
その他(純額)	11,037	11,542
有形固定資産合計	18,694	19,152
無形固定資産		
のれん	4,774	4,533
その他	1,825	1,870
無形固定資産合計	6,600	6,403
投資その他の資産	5,536	5,788
固定資産合計	30,831	31,344
資産合計	77,521	78,926
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,180	4,891
短期借入金	3,954	3,243
未払金	13,372	12,701
未払法人税等	478	630
引当金	231	308
その他	4,187	4,189
流動負債合計	27,405	25,965
固定負債		
新株予約権付社債	5,000	5,000
長期借入金	1,041	2,039
退職給付引当金	1,324	1,388
その他	2,545	2,646
固定負債合計	9,911	11,075
負債合計	37,316	37,040

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,331	6,331
資本剰余金	5,799	5,799
利益剰余金	30,577	31,868
自己株式	△3,460	△3,461
株主資本合計	39,247	40,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	4
為替換算調整勘定	820	1,210
その他の包括利益累計額合計	821	1,215
新株予約権	—	8
少数株主持分	136	123
純資産合計	40,205	41,885
負債純資産合計	77,521	78,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	42,666	46,113
売上原価	24,932	26,633
売上総利益	17,733	19,480
販売費及び一般管理費	15,342	16,533
営業利益	2,391	2,947
営業外収益		
受取利息	24	28
受取配当金	0	0
為替差益	—	188
受取賃貸料	67	77
その他	49	104
営業外収益合計	141	399
営業外費用		
支払利息	56	62
為替差損	549	—
その他	108	94
営業外費用合計	713	157
経常利益	1,819	3,189
特別利益		
固定資産売却益	3	23
特別利益合計	3	23
特別損失		
固定資産除却損	1	2
固定資産売却損	1	28
特別損失合計	3	30
税金等調整前四半期純利益	1,819	3,182
法人税、住民税及び事業税	586	743
法人税等調整額	502	541
法人税等合計	1,088	1,285
少数株主損益調整前四半期純利益	730	1,897
少数株主利益	1	3
四半期純利益	729	1,893

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	730	1,897
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	3
為替換算調整勘定	△910	373
その他の包括利益合計	△910	377
四半期包括利益	△179	2,274
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△177	2,288
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△13

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,819	3,182
減価償却費	916	1,022
のれん償却額	403	490
固定資産売却損益(△は益)	△1	5
固定資産除却損	1	2
引当金の増減額(△は減少)	4	75
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3	7
受取利息及び受取配当金	△24	△28
支払利息	56	62
為替差損益(△は益)	△21	△258
売上債権の増減額(△は増加)	△153	1,477
たな卸資産の増減額(△は増加)	443	45
仕入債務の増減額(△は減少)	255	△323
未払金の増減額(△は減少)	148	△383
その他	△511	150
小計	3,313	5,518
利息及び配当金の受取額	24	24
利息の支払額	△54	△56
事業再編による支出	—	△23
法人税等の支払額	△2,150	△562
法人税等の還付額	—	1,035
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,133	5,935
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△428	△491
定期預金の払戻による収入	431	421
投資有価証券の取得による支出	△0	△977
有形固定資産の取得による支出	△371	△1,086
有形固定資産の売却による収入	17	114
無形固定資産の取得による支出	△371	△574
その他	△32	111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△755	△2,482
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,978	△72
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△340	△669
新株予約権付社債の発行による収入	5,000	—
リース債務の返済による支出	△130	△249
配当金の支払額	△541	△601
その他	51	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,938	△593
現金及び現金同等物に係る換算差額	△234	142
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,794	3,001
現金及び現金同等物の期首残高	11,377	11,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,583	14,993

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	31,981	3,461	2,526	4,697	42,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,902	36	111	2,421	4,471
計	33,884	3,497	2,637	7,118	47,138
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,068	141	△114	316	2,412

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,412
セグメント間取引消去	10
のれんの償却額	△21
棚卸資産の調整額	△5
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	2,391

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	米州	欧州	アジア・ オセアニア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	32,195	4,622	3,420	5,876	46,113
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,577	41	136	3,632	6,388
計	34,772	4,663	3,556	9,509	52,502
セグメント利益	1,993	265	73	639	2,972

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,972
セグメント間取引消去	18
のれんの償却額	△27
棚卸資産の調整額	△12
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	2,947

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。